

第479回（6月定例）福崎町議会

福崎町長 橋本省三

皆さん、おはようございます。

第479回福崎町議会定例会を招集いたしましたところ、全員のご出席をいただき、誠にありがとうございます。

今週6日、梅雨に入りました。町内を見渡すと各所で田植が始まっています。雨に濡れる木々は一層緑を深め、ツバメが飛ぶ姿や蛙の声が季節の訪れを告げています。

毎年のことではありますが、梅雨に続いての台風期も含め、当分の間は局地的大雨や集中豪雨による河川の増水、土砂崩れ等に万全の態勢で備えなければなりません。国と都道府県は6月を土砂災害防止月間として、さまざまな取り組みを進めることにより土砂災害に対する国民の理解と関心を深め、被害の防止・軽減を図るとしています。本町では、ここ数年は幸いにも大災害というほどの被害には至りませんでした。毎年のように床下浸水、道路の冠水、小規模の土砂崩れ等が発生しています。昨年9月18日から19日未明にかけて接近した台風18号では、最大時間雨量61mmを記録し、あと1時間雨が降り続けば市川の越水を招くという危険な状況もありました。温暖化の影響もあり、豪雨災害はいつ、どこで発生してもおかしくありません。

昨年度、国への要望活動が実り、砂防事業として県が実施する田口谷川や福田地区の福岡川、福田川の整備を継続して進めることができました。あわせて、長年、懸案事項となっていました大貫地区アンダーパス部の冠水対策事業の補助もいただくことができ、町事業として今年度実施します。また、住民の防災意識の高揚を図るため、現在、県において進めています土砂災害特別警戒区域の指定等を反映させた、ハザードマップの改訂に向け準備を進めています。災害の被害を最小限に抑えるためにも、防災への対策や防災意識の醸成に日頃から努めてまいります。

さて、新年度に入り2カ月あまりが過ぎました。

私の第1の公約としていますJR福崎駅周辺整備については、国の社会資本整備事業として、最終年度分もほぼ予定どおりの補助金をいただける見通しとなりました。今、駅前には建物の移設や撤去が終了し、更地が広がっています。これから始まる各種の大型工事を

待っている状況です。

福崎駅について、歴史を掘り起こしてみますと、福崎駅は明治 27 年 7 月 26 日、播但鉄道として姫路、寺前間で開業しました。今から 124 年前の出来事です。9 年後の明治 36 年 6 月に、播但鉄道が山陽鉄道に営業譲渡したため、山陽鉄道の駅となります。3 年後の明治 39 年 12 月には、山陽鉄道が国有化され国有鉄道の駅となり、明治 42 年 10 月 12 日に線路名称が制定され、播但線となりました。その後、国鉄として 78 年間、地域唯一の高速の運送手段として利用されました。昭和 62 年には国鉄分割民営化により西日本旅客鉄道（JR 西日本）の駅となり、平成 10 年に姫路寺前間が電化されました。

歴史民俗資料館には、昭和 8 年ごろの写真が残っていますが、福崎駅から出征する兵隊さんを万歳して多くの方が見送っている写真です。また、戦後当分の間は、地域住民の唯一の輸送手段として仕事や学業など多くの方が福崎駅を利用し、別れや出会いを繰り返してこられたのでしょう。昭和 47 年には、蒸気機関車が廃止されましたが、私の記憶には、今も蒸気をはいて汽笛とともに走る蒸気機関車が鮮明に残っています。当時、この駅周辺は町内で最も多くの方が行きかった地域であることは間違いありません。駅前には、「イズミヤ」や「さくらや」があり、そこに 3 階建ての「なぐさ」が出来たのが、ついこの間のようです。このように多くの町民の記憶に残り、変遷してきた福崎駅周辺の歴史に、この事業を通じて携われていることに、この上もない喜びを感じています。この整備が、駅前地区の皆さんや、町内の皆さんにとって後世に残る一大事業となるよう、もうひと踏ん張りしなくてはならないと決意を新たにしているところです。

今議会には、駅周辺整備の最終仕上げとして大型工事の契約案件を上程しています。駅舎前には JR を利用して訪れる来訪者をおもてなしする施設として、また、駅前の賑わいと交流の創出拠点施設として観光交流センターの整備を進めます。2 階のデッキからは交流広場や交通広場、南北に伸びる県道甘地福崎線などが一望でき、生まれ変わった駅周辺にきっと感動されることと思います。また、モニュメントの整備による賑わいの創出を考えています。モニュメントは、辻川山公園のガジロウが地下水路を泳ぎ駅前に現れた想定で整備し、JR を利用した観光客の取り込みを考えています。

整備事業が完了したからといって私たちの仕事が終わるわけではありません。福崎駅周辺に「ひとの流れや町の賑わい」をよみがえらせ、町の玄関口にふさわしい地域となるよう「魂」を吹き込んでいく必要があります。昨年度実施した、軽トラ市「福崎〇〇まるしえ」を今月から実施してまいります。工事が急ピッチで進む交流広場周辺での開催となりますので、小規模な開催とはなりますが、事業の完成後は交流広場を活用した各種のイベントが開催できるよう、今から準備を進めてまいります。また、商業施設の誘致や、駅利用者

の増加を目的として駐車料金の補助やレンタサイクルの設置など、様々な事業をすすめ、活力あふれる地域として再生するよう取り組んでまいります。

今後も、議員はじめ、多くの皆さんからご意見をいただき、福崎町の玄関口にふさわしい駅周辺づくりを全町民で進めていければと思っております。

各課からの事業報告です。

#### 【総務課】

6月1日、長年ボランティア活動をされた団体「福崎エコの会」にクロガネモチ賞を贈りました。この賞は、町民の模範として認められる善意の行為があった団体を表彰するもので、受賞者の皆様に感謝申し上げるとともに、今後ますますボランティアの輪が広がることを期待しています。

また、選挙人名簿の定時登録者数は、6月1日の基準日現在、男7,522人、女8,191人、計15,713人となり、前回の3月基準日より18人の減となっています。

#### 【企画財政課】

第5次総合計画の見直しを進めています。総合計画審議会を設置して審議いただく予定としています。また、後期基本計画の策定にあたっては、住民アンケートやまちづくり委員会など住民参加で進めていきたいと考えています。6月中旬を目途に住民アンケートを実施します。

昨年に引き続き安定的な財政運営に努め、限られた財源を「賢く使う」取組を行うため、統一的な基準による地方公会計の整備を進めます。

#### 【出納室】

5月末日で平成29年度の出納を閉鎖し、決算書並びに決算報告書の調整を行ってまいります。

#### 【税務課】

今年度、住民税特別徴収義務者の一斉指定を行い、5月10日に各事業所へ納税通知書を発送しました。現在のところ特に大きな支障もなく移行しています。また、5月11日には軽自動車税の納税通知書を発送しました。平成30年度町税等の納税通知書及び介護保険料納入通知書は6月15日に、後期高齢者医療保険料の納入通知書は7月13日に発送すべ

く準備を進めています。

出納閉鎖に向け電話催告及び夜間徴収を実施、また、滞納整理対策委員会では関係課の滞納者リストを基に合同徴収対象者リストを作成しました。今後、計画的に合同徴収を行います。また、本年度も兵庫県から滞納整理回収チームの職員派遣を受け、連携を図りながら滞納整理に務めています。

#### 【地域振興課】

「まちづくり・地域づくり活動」に対して助成する自律(立)のまちづくり交付金事業は、すべての自治会からの申請がありました。

第12回民俗辻広場まつりは、4月7日に第1グラウンド駐車場周辺で開催しました。地域の文化・観光資源を連携・融合することにより民俗学のふるさとを再認識し、地域活力の創造へとつなげることを目的に開催しています。各種団体によるステージイベントやもち麦生産組合などによる食の広場とともに、観光協会主催の観桜会やボランティアまつりを実施し、楽しいひとときを過ごしていただきました。

神戸新聞社と一般社団法人ノオトが連携協定を締結し、そこに福崎町が参画して協議会を立ち上げました。辻川界限のお宝を使ったまちづくりを進めていくこととしています。

日常の買い物に不自由を感じておられる方への支援策として、商工会と連携して住民の意向調査を進めるとともに実証実験として移動販売車の運行を計画します。

#### 【住民生活課】

福崎町消防操法大会を5月13日に開催しました。32分団による熱戦が繰り広げられ、小型動力ポンプの部は、庄分団が優勝、福田分団が準優勝、駅前分団が第3位でした。自動車ポンプの部は、今年度から西治分団1分団のみの出場となりました。優勝した庄分団は、来る7月1日に兵庫県広域防災センターで開催される中播磨地区消防操法大会に福崎町代表として出場します。

6月1日から蛍光灯、乾電池などの分別収集を開始しました。また、8月からは町内5か所に小型家電回収ボックスを設置し、拠点回収方式による小型家電の回収も実施します。

#### 【健康福祉課】

先日の臨時議会で、国民健康保険税の税率改正について賛同をいただくことができましたが、今後も医療や介護について少子高齢化が進行するなか、将来にわたって持続可能な社会保障制度を構築するため、国は世代間・世代内の負担の公平化などを目指して改革を

進めています、少しでも町民の負担軽減につながるよう努めます。

保健事業については、特定・基本健康診査、がん検診を6月17日から7月23日までの間に土・日を含み11日実施します。周知を図るため、各世帯に意向調査を兼ねた健診申込書を郵送し、受診率の向上に努めています。多くの町民の皆様にご受診していただき、重症化を予防して健康寿命の延伸や医療費の逡減につなげていきます。

食育の推進については、親子で運動や食の大切さを学ぶ「フクちゃんサキちゃんクラブ」が7年目を迎えました。今年度も神戸医療福祉大学と連携し、5月19日から実施しています。

地域包括ケアシステム構築の一環として、今年度も各自治会を訪問し、「地域支え合い会議（我が事会議）」を開催します。町民の困りごとに地域の福祉支援者が早期に関われる体制の構築を目指します。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険等、大きな制度改正がありました。このため保健・医療・福祉の情報源としての機能を持つ、「福祉のしおり」の改訂を進め、10月を目途に各戸配布を予定しています。

#### 【農林振興課】

今年度から国主導による生産面積の調整がなくなり、農会長や農家の皆様のご理解とご協力により、平成30年産米の作付面積は345haの見込みとなりました。

高岡・福田地区の県営ほ場整備事業は、平成29年度から引き続き実施設計を進めています。

ため池整備事業について、(桜)上池は引き続き工事を進めています。また、三谷池は4月に内示があり、詳細設計を進めてまいります。

#### 【まちづくり課】

福崎駅周辺整備で、6月1日に県道甘地福崎線を完成形で供用開始しました。残る事業用地の確保に向けて引き続き収用手続きと任意交渉を並行して進めます。

辻川界限については、都市再生整備計画に基づき、辻川観光交流センターの建築と町道辻川界限線の整備の進捗を図るとともに、旧辻川郵便局の移築工事の入札準備を進めます。

福崎町東部工業団地の拡張に向け、地元説明会等を実施するなど調整を図っています。地域公共交通網形成計画に基づくコミュニティバス「サルビア号」等の充実については、10月1日の実施に向け、健康福祉課と協力して自治会毎の説明会等を行います。

また、都市計画道路福崎駅田原線の延伸については、道路計画の見直しについて自治会

説明会や兵庫県との調整を図ります。

#### 【上下水道課】

水道事業、工業用水道事業、下水道事業の3会計について、決算を取りまとめました。今後、監査委員の監査に付して9月定例会に決算認定を提出します。

水道事業では、工業団地の上水配水池の耐震化を図るため、7月末に更新工事の入札を実施します。また、住民に対し安全安心な給水を持続していくため、「経営戦略」・「安全計画」・「耐震化計画」を示した水道事業ビジョンの改定を行います。

下水道事業汚水整備では、長目地区コミュニティプラントの公共下水道への切替工事を実施します。

浄化センターにおいては、施設の長寿命化の方針や改築計画を定めた、ストックマネジメント計画を策定します。

雨水整備では、駅東雨水幹線工事が完了しました。今後、南田原地区の内水対策として、川すそ雨水幹線工事を進めていきます。また、福田・駅前地区の浸水被害を軽減するため、直谷第2雨水幹線の事業化に向けた協議を進めます。

#### 【学校教育課】

高岡小学校プール改修工事はほぼ完了し、漏水検査等プール開きの準備を進めています。

給食共同調理センターでは、4月1日から株式会社 神戸フーズによる調理等業務委託が始まりました。町職員の管理のもと、学校園に、安全・安心な給食を提供しています。

昨年度に実施した学校施設の老朽化等現況調査をもとに、小・中学校施設の長寿命化計画の策定を進めています。

友好都市遠野市との交流事業として、児童が遠野市へ訪問し子ども同士の交流を行います。町内小学校6年生を対象に5月末まで遠野市訪問団員を募集し、多くの応募がありました。8月27日から29日の実施に向け遠野市と調整を図っています。

#### 【社会教育課】

第36回福崎町美術展を、5月18日から20日までの3日間開催しました。洋画、日本画、書、彫塑工芸、写真の5部門に195作品の応募があり、20日にエルデホールで表彰式を実施しました。

平成30年度福崎町子ども会球技大会を、6月30日に田原小学校で開催予定です。

第39回山桃忌を8月4日・5日にエルデホールを会場に実施します。今年は「柳田國男

と『遠野物語』をテーマに、4日は、講演会とシンポジウムを5日は遠野の民俗芸能「しし踊り」を上演します。

続きまして、今議会提出議案の概要について、ご説明申し上げます。

(略)

以上、報告が3件、人事案件1件、規約変更1件、条例制定1件、条例改正5件、契約案件で4件、その他の案件として1件の全16件となっています。

詳細説明は、副町長、技監ほか担当課長が行いますので、よろしくご説明申し上げます。冒頭あいさつとさせていただきます。